

中生品種は刈取適期終盤！「つや姫」は刈取適期突入！ 早目の刈取りと丁寧な乾燥調製で、高品質米を！

1 中生品種は刈取り適期終盤！刈遅れは胴割粒・茶米発生リスク大！

「はえぬき」は刈取適期の終盤で、「雪若丸」(8月2日出穂)も刈取り適期に入り、9月13日現在で青米が少なく良好な仕上がりとなっています(図1)。

胴割粒が発生しやすい登熟条件であったため、すでに軽度の胴割粒や薄く着色した茶米も見られます。刈遅れは急激な品質低下につながるため(図2)、早急に刈取りを進めてください！また、胴割粒の発生を防ぐため、籾水分が高い場合は二段乾燥や夜間休止を行うなど、ゆっくり・丁寧な乾燥を行います。



図1 9月13日現在の精玄米の状況
(鶴岡市長沼「雪若丸」)
※出穂後積算気温 997℃

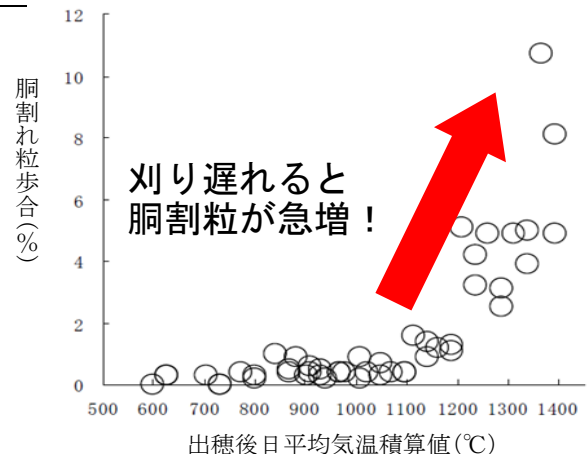


図2 「つや姫」の胴割粒歩合の推移
(H22、農総研セ m²籾数 2.8~3.5 万粒)

2 「つや姫」も刈取り適期突入！

生育診断圃の「つや姫」(8月4日出穂)は、登熟歩合は平年並みで、青籾歩合と籾水分も順調に低下し(図3)、9月17日に刈取適期に入りました。

下表を目安に、青籾歩合、籾水分を確認し、刈取り時期を判断して下さい(表1)。

表1 出穂後積算気温から見た「つや姫」の刈取適期の目安

出穂期	1000℃到達日
8月4日	9月17日(鶴岡アメダスの気温で計算)
8月7日	9月23日(狩川アメダスの気温で計算)

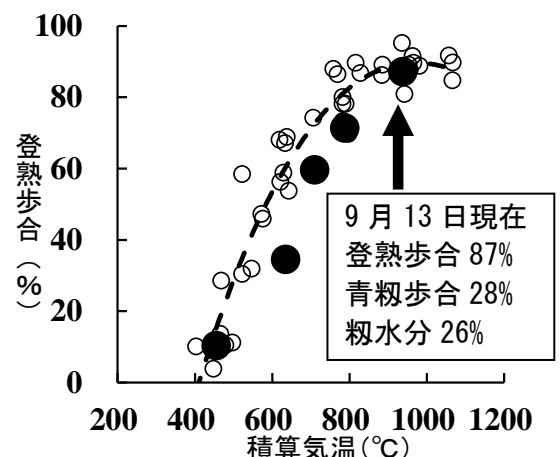


図3 積算気温と登熟歩合の推移
(鶴岡市上清水、8月4日出穂)
●本年、○H22~R2年

農作業事故に十分注意してください！

コンバイン使用時、収穫作業における重大事故に注意しましょう！STOP農作業事故！